

北海道医歌人会詠草

氷解く

函館 水関 清

二人してシートを広げる それだけで お祭り騒ぎとなる兄弟
寐入る兎を抱きていつか眠りけり ソファーは沈む 未来の重さ
柔らかな君の眠りに入りこみ 夢の岸辺を いっしょに泳ごう
少しずつ冬の陽吸って 細くなり 糠との出会い待つかし大根
どこからか梅の香りのひろがりて わが身を包む 公園通り

駅伝

士別 竹内 幹夫

背後より重き足音近付きて 軽やかな息去りゆくは風
あと一歩あと一秒の力尽き 振り絞れども脚に届かず
追いつきて君の真後ろ風は無し あつぶつかると独り脚逃ぐ
息尽きて面伏せたる土の味 ライバルの背は無間の闇に
大地蹴る着地の刹那眉よぎる 右の踵か夢であれかし

転禍為福

滝川 村田 英俊

コロナ禍に「とりあえずビール」聞かぬなり 黙食飲み会病室のごと
祭なく盆も帰れず自肅のみの街の暮しを草木は嗤うや
金メダルが大ニュースなる日本は 感染者数小さく報じる
正しさを貫かんとし役を辞しぬ 時を待つため今は負けたとす
取りやめの横線目につく予定表 酷寒の冬はもうすぐ去るめり

除雪

江別 三宅 浩次

雪が降る今朝も音なく雪が降る美しき超え労を残して
朝早く除雪の車の音響くやれ玄関前の雪除けなければ
ラッセルの運転手は夜中でも休むことなくご苦労様よ
雪道を苦労しながら車行く事故なく行けよ今日一日を
今日の雪重たく感じこの雪は春を告げる雪かも知れぬ

ヒヒラギ

札幌 浜島 泉

イバラある「蟹ヒヒラギ」と木に書きつ 邪気を払ふの習はしなりし(節分)
雪硬し砕き広げて陽に晒す ほどなく潤ひ踏むに崩れつ
新年の運勢欄に「金運」が 年末調整コインが数個
「銘柄を変へたのかい」と妻に問ふ 飯のみ深く味はひて識る
回診時「ごはん食べても」「いいですよ」 経管栄養自覚せぬ人

ホモ・サピエンス

釧路 兎玉 昌彦

核戦争に勝者は無しと言いつつも戦の準備なお怠らず
抗争の人類史の中でつちかいいし文明という毒を持つ花
新しき世を作るべき戦いと古い古されて久しき時代
大いなる歴史の流れのみにいて個人は大河の一分子にも似て
理想という名前のもとに優しくも酷薄にもなるホモ・サピエンス

現代オリンピック(3)

北広島 古屋雅三知

何故にオリンピックが特別か? 世界選手権の数ある中で
掲げたる五輪憲章の故なるや 形骸化した言葉に意味は?
ベルリンと北京の冬に差やあらむ プロパガンダと独裁の道
民族抹殺、民主化抑圧 競技者よ 人間の心と矜持をば持て
貪すればチャイナマネーに眼が眩む Thomas Bachの媚び浅ましき